ESA がクラスタ化されている場合の PVO 移行 ウィザードの要件

目次

[はじめに](#)
[ESA がクラスタ化されるとき PVO 移行 ウィザードのための必要条件とは何か。](#)
[要件](#)
[例](#)
[関連情報](#)
[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

この資料はクラスタ化することが E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) で含まれるとき Policiy、ウイルスおよび発生検疫 (PVO) のための必要条件をウィザード記述したものです。

ESA がクラスタ化されるとき PVO 移行 ウィザードのための必要条件とは何か。

クラスタ化された ESA からポリシーのためのセキュリティ管理 アプライアンス (SMA) にデータを、ウイルス及び発生検疫は移動するのに、移行 Wizrad を使用するためにこれらの必要条件会う必要があります:

> **注:** クラスタ化されたアプライアンスのあらゆるレベルで中央集中型ポリシー、ウイルスおよび発生検疫を有効に することができます。

要件

- 「中心にしたポリシーを、ウイルス 有効に なり、特定のレベル (マシン、グループ、またはクラスタ) の E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) の発生がセキュリティ管理 アプライアンスに検疫」、同じレベルに属するすべてのアプライアンス最初に追加する必要がある前に
- (オペレータがか他が) 設定を行うのに管理者 アカウントを使用する設定は設定することができます[イネーブル…] ESA のボタンは選択不可能になり、サービスは有効に することができません
- コンテンツおよびメッセージ フィルターおよび DLP メッセージ アクションは同じレベルで設定され、そのレベルの下のあらゆるレベルで無効にしない必要があります
- 中央集中型ポリシー、ウイルスおよび発生検疫設定は同じレベルで行われ、設定されたレベルの下のあらゆるレベルで無効にしない必要があります。
- セキュリティ管理 アプライアンスが付いている通信に使用するべきインターフェイスにグループですべてのアプライアンスの同じ名前がある確認して下さいまたはクラスタ化して下さいことを。

例

クラスタかグループ レベルで中央集中型ポリシー、ウイルスおよび発生検疫を有効に したいと思うがクラスタに接続される ESA にマシン レベルで定義されるこれらの設定があればクラスタかグループ レベルで機能を有効に することができる前にマシン レベルで行われる中央集中型検疫設定を取除いて下さい。

これらが会わない場合、SMA 側でこれと同じような工ラーがあります:

```
Unable to proceed with Centralized Policy, Virus and Outbreak (PVO) Quarantines configuration as
host1.example.com, host2.example.com in Example_Cluster have content filters / DLP actions
available at a level different from the Cluster Example_Cluster level.
```

関連情報

- ESA の一元化されたポリシー、ウイルスおよびアウトブレイク隔離（PVO）は有効にできません
- SMA における PVO 隔離との配信に関するトラブルシューティング